

三重県スポーツ少年団では、各市町スポーツ少年団や各役員から紹介された「地域で活発に特色ある活動をしている単位団」を訪問し、その活動の様子を皆様にお伝えしています。

今回は、明和町で全国的に見ても稀な種目である「競技かるた」に取り組んでいる「明和町競技かるたスポーツ少年団」を紹介します。

「かるた競技」は、全国で初めて明和町で、三重とこわか国体のデモンストレーションスポーツにもなりました。

指導者の中西 明子さんと明和町スポーツ少年団本部長の濱口行生さんからお話を伺いました。



中西 明子さん

明和町競技かるたスポーツ少年団

○ 濱口 行生さん(明和町スポーツ少年団本部長)に設立について話を伺いました

明和町では、平成15年度から平成19年度にかけて行った「斎王が奏でるまちづくりプロジェクト」を始めとして、対象を県内外を問わず、百人一首かるたの普及を目的に様々な取組を行いました。公民館と連携した「初心者向け講座」や小中学生を対象にした「かるた教室」、「三重県初心者大会」の開催や「浪漫まつり」でのかるた披露などで普及を図ってきました。また、平成23年度からは、現指導者の三重県かるた協会 中西 明子 四段に指導をお願いし、多世代で「かるた」を楽しんでもらえるように取り組んできました。

しかし、子どもから大人まで「競技かるた」人口は増えたものの、中学生になると部活動との兼ね合いや中学校や高校で「かるた」に親しむ環境がなく、現実には、小学生の段階でやめてしまうという課題が明らかになってきました。

そこで、「競技かるた」は畳の上の格闘技ともいわれ、スポーツの分野に入ることではないかということから、地域に認められ、多世代での活動が可能なスポーツ少年団への加入を検討し、平成29年4月「明和町競技かるたスポーツ少年団」を設立し現在に至っています。



濱口 行生さん

○ 今の活動状況について教えてください。

団員8名、指導者3名で、毎週土曜日に明和町中央公民館で、午後2時間程度の活動をしています。現在、団には小学生4名、中学生2名、高校生2名が所属しており、公民館の講座の方々とも一緒に「競技かるた」に取り組んでいます。

団員は、明和町に限らず広く受け入れています。毎年10名前後での活動になっています。

「競技かるた」は百人一首の歌詞を全て覚えなければ競技に参加できないと思われがちですが、実はそうではなく、最初の何文字かを覚えるだけでも競技に参加できます。そういう意味では、小学校低学年でも年長者と対戦しても十分楽しめています。百首全てを覚えて理解していることも大切ですが……。



他の競技と同じで、普段の練習の成果を発揮し、自分の力を試す場として、いくつかの大会にも参加しています。大会によって、団体戦や個人戦があり、今年度は、三重県百人一首かるた中高生大会で優秀な成績を残し、全国中学生選手権大会の団体メンバーとして出場する団員も出てきました。

また、今年は、三重とこわか国体デモンストレーション大会も開催され、様々な人たちとのよい交流の機会となると思っています。

○ 活動について大切にしていることを教えてください

どの競技でも言えることですが、「かるた競技」でも規律や礼儀を大切にしています。

畳の上で正座の姿勢で競技を行います。大会となると2時間近くその姿勢での対戦となり、集中力も必要となってきます。普段の練習からその集中力が高められるように真剣な態度で練習に臨むようにしています。

また、地域の講座の方々と、年齢に関係なく、「かるた競技」を通して一緒に活動することで、自然に対話したり関わりを深めることで、団員たちに地域に貢献する心を育てたいと思っています。



○ 団の将来に向けて考えていることを教えてください

スポーツ少年団は、大学までという意識があります。

できれば、子どもから大人までが楽しんで活動できるような形の団になってくれればと思います。そのためには、指導者を育成し、段や級を積極的に取得することにも取り組んでいきたいと思っています。

また、最近では、明和町内の2つの小学校で放課後子どもプランとして「かるた競技」に取り組む状況があります。そこで興味をもった子どもたちが、本団に入団してくれることを期待するとともに、できれば、各小学校に各単位団ができて、「かるたの町」明和町の活性化につながってくれればと思います。

○ 団員の皆さんに聞いてみました



濱口 桃加さん(小3)

①「かるた競技」は、いつから始めましたか？ →小学1年生から始めました。

②「かるた競技」の楽しいところは？

→「かるた」を取る瞬間のそのスピード感がとても楽しいです。

③これからの目標は何ですか？

→練習して、もっともっと強くなりたいです。そして、自分より強い人とたくさん対戦したいです。

①「かるた競技」は、いつから始めましたか？ →小学3年生から始めました。

②「かるた競技」の楽しいところは？

→練習や大会で自分より強い人と対戦して、競ったり勝てた時が楽しいです。

③全国大会に出場されるそうですが、大会に向けての目標は？

→三重県の選抜チームの一員として力を発揮し、チームがより上位に進出できるようにがんばりたいです。

④これからも「かるた」続けていきたいと思います。今後、「かるた競技」やスポーツ少年団にどのように関わっていきたいですか？

→これから競技人口も増えてくると思うので、このスポーツ少年団の指導者になりたいと思います。そして、いろいろな人たちに「かるた」の楽しさを教えたいと思います。



赤澤 心さん(中3)